

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

「挑戦の先にあるもの」

— 余瀬 松本梨園 —

まつもと ゆうき

松本 祐樹 さん

お米、野菜、お肉…食事をする時、その素材が食べられるようになるまでの過程を想像したことはありますか？今回はご実家の農家を継ぎ、主に金ごま、お米、梨の栽培をしている松本さんのお話。中でも金ごまは安心・安全を考え、除草剤を使わないので、夏場の地道な草刈りが必須。収穫前に葉を取り除いて手刈りをし、収穫後は乾燥、脱穀、選別、さらに洗って…と、たくさんの工程があります。農家になりたくなかった松本さんが、あえて手間のかかる金ごまにチャレンジする理由とは？！



「植物だけと人と対峙しているような感じで声かけします」と松本さん。

家業を継ぐことを決めた「感謝の気持ち」

松本さん—「農業をしていた両親を見ていて、絶対にやりたくないという頃は思っていました。ですが、年を取るにつれて、ご先祖様が頑張ってきたものがあるから今の自分があるんだって感謝するようになって。そうしたら、両親の代で終わるのはもったいないなど。それに付随して、自分が貢献できることは何だろうと考えた時に、農業を続けるという選択をしました。」

やってみないとわからない「農業の魅力」

松本さん—「農業は自由。作業時間は自分で調整できますし、音楽が好きなので音楽を聞きながら作業もできます。もちろん夏場の草刈りなど大変なこともあります。やればやるほど結果が出るじゃないですか。その自由度の高さがいいなと思います。」



松本さんよりも大きく育つ金ゴマ。ちょうど収穫期に入ったところ。



炒る工程を楽しんでもらいたいとの想いで、あえて「生ごま」で販売。

ご縁と直感が導いた「金ごまとの出会い」

松本さん—「両親が梨とお米を栽培していたので、自分として戦っていくものは何だろうと考えていた時に、高根沢町で金ごま栽培が始まると教えていただいて。それを聞いた時に『面白そう！これだ！』と思いました。ごまは国内自給率がとても低くて希少ですし、自家採種できることも魅力だなと感じました。」

次の世代を担う子どもたちのために

松本さんー「いろんな方と出会う中で、子どものアレルギーと農薬の関係などを知って、これからの農業は安心・安全な方向に向かっていかないと…と思いました。自分が作るものは化学肥料や除草剤をできる限り使わずにやっていきたいですし、食べて健康になってもらいたいという目標があります。」



微生物を活性化させる土づくりをしている金ゴマの畑。



出荷前のゴミ取り作業も丁寧に手作業で行っています。

大田原から金ごまを！

農家になって7年目を迎える松本さん。

松本さんー「やってみないと見えないものってあるので、体力があるうちはいろいろチャレンジしたいです。そして、大田原から金ごまをどんどん盛り上げて認知してもらいたいですし、自給率を少しでも上げられたらなと。その後、金ごま栽培が農家をやりたい人の選択肢の一つになるような基盤を作れたらいいなと思います。」

余瀬 松本梨園



購入はコチラ



LINE



祐樹さんこだわりの金ごま



ご両親と一緒に育てている梨



Instagram

食べてくださったお客様の声も糧になります！



取材した方に聞きました
「あなたの好きな大田原」

松本さんより

冬の星空

キャンプに行った時によく星を見るのですが、地元でもかなりキレイに見えることに気がつきました。冬の星空は特にキレイです！



夜空を見上げてみませんか？

空き家情報募集中！



空き家バンク

移住相談にみえる方の多くが**戸建て物件**を探されています。「空き家バンク」は、所有している空き家の情報を登録していただき、利用したい方に情報提供する制度です。詳しくは下記の担当課にご連絡ください。

建築住宅課 Tel:0287-23-1916

お問合せ

大田原市の移住相談窓口

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-3-1 大田原市役所A別館2階

Tel : 0287-23-8794 (平日/9:00~17:00)

Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp



大田原の暮らし、地域情報など発信中！

担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課